



# すてい~る

## 目次

### ● 特集 「青年部会」第2回定時総会

● 「青年部会」第2回定時総会	1
● 青年部会「第3回運営委員会」および「見学会」	3
● 委員会委員名簿	4
● 支部役員名簿	5
● 平成14年度「特殊鋼販売技士」合格者のお知らせ	7
● 新支部長訪問	
樋口克彦 大阪支部長	9
川本芳裕 名古屋支部長	10
● 私の愉しみ 平井良平 (株)平井 取締役社長	11
● 突然おじゃま 清水官祐 清水特殊鋼(株) 取締役会長	12
● 理事会・委員会名簿	13
● 事務局だより・編集後記	裏表紙



社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号 (鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail [zentoku3@ba2.so-net.ne.jp](mailto:zentoku3@ba2.so-net.ne.jp)

## ■会長あいさつ



(社)全日本特殊鋼流通協会 会長 三上 聰彦  
「励ましあいながら切磋琢磨して欲しい」

青年部会発足から1年間、さまざまな事業を通じて部会員の仲間意識や連帯感も強くなっているように拝察します。かつては私も、ヤングプラザという若手経営者の会に参加し、業界動向や自社が抱える問題点などを意見交換しました。現在の両副会長をはじめ全特協の理事の方々は、そこで一緒した先輩や仲間達で、ヤングプラザで培われた仲間意識が現在の協会の基盤となっています。青年部会でも、地域を超えた各部会員が問題

意識を共有し、相談し激励しあいながら切磋琢磨すれば、非常に実りのある会になるはずです。また、厳しい経営環境が続いていますが、我々協会幹部もこの時代にどう対応して、事業、活動が行えるか日々模索中です。皆さまが直面する問題点や、協会への要望などがありましたら、青年部会を通じて意見具申していただきたい。

いずれにしても、青年部会の活動が今後ますます盛んになり、部会を通じたメリットを活かされることを願います。



## ■工場見学会

青年部会では総会に先立ち、大阪市北区にある造幣局、および造幣博物館の見学会を行いました。造幣局は明治4年(1871年)に設立された、貨幣製造を主な業務とする我が国唯一の機関で、当日の見学会では500円貨幣に表裏の模様と周囲のギザをプレスする圧印工程、および検査工程を見学しました。その後は、大判・小判をはじめとする古銭や海外の貨幣が展示される造幣博物館の見学を行いました。



## ■講演会

定時総会の前に、松崎直己氏(SR助成金ネットワーク代表・社会保険労務士)を講師に迎えて「経営者として知って得する助成金と労務管理」と題する講演会を開催しました。講演では、数多くありながら制度自体が複雑で分かりにくい“返済不要の政府助成金”について、いくつかの具体例をあげて分かりやすく解説。今後、社会保険制度の変更で企業の負担も増すと予想される中で、労働保険との関連なども含めた有効な助成金活用が提示されました。



## ■懇談会

### ◎来賓あいさつ

(社)全日本特殊鋼流通協会 副会長 久木田 一成  
「若い力と発想で全特協を高めて欲しい」



青年部会では、我々旧世代にはなかなか思いつかないような新しい知恵を出しながら、具体的な活動に結び付けていただき、大変頼もしく感じている。今後とも、その若いエネルギーと発想と、何よりも楽しく活動するという趣旨で部会運営を行なっていただき、全特協の意義をさらに高めて欲しい。



# 青年部会「第3回運営委員会」および「見学会」



8月4日(日) 金属彫刻家新鋭展にて

開催日時：平成14年8月4日（日）12：00～13：30

開催場所：東京・八重洲「龍名館 2階 四季」

出席者：木村部長以下15名

## 審議事項

### (1)平成14年度事業について

8月4日(日)「金属彫刻作家新鋭展」見学会の開催  
(21名参加)

8月5日(月)工場見学会の実施 日産自動車(株)栃木工場と藤田商事(株)北関東支店の見学(15名参加)  
第4回運営委員会及び第2回定時総会を平成14年10月～11月に大阪で開催する。

### (2)特殊鋼文化の普及啓発事業について

#### ①(株)フォーシードへのアプローチ

発展途上国の貧困にあえぐ子供達を援助する組織 [(財)日本フォスター・プラン] と提携して、寄付金を含む名刺印刷などを全特協会員にPRする。

### (3)共同化メリットについて

①協会のホームページの全面的な充実を図る目的で、(株)トライにデザインしてもらうことを了承した。会員企業のリクルートにも資料として活用できるホームページにする。

#### ②(株)総務部へのアプローチ

経営者として知らなければならない労務及び補助金関連情報を簡単に有効に利用できる様、青年部会会員向けに取りまとめてもらう。

(例)・労働基準監督署の指導が厳しくなるということなので、経営者として労働基準法についてのアドバイス。  
・401系年金制度の変化を経営者として考えておくべき事項。

・補助金申請の雛型の作成等々。

③全特協会員企業の福利厚生施設の有効活用。

④全特協会員企業の入会しているゴルフ場の紹介等。



出展の作家先生との質疑応答



見学会の様相



8月5日(月)日産自動車栃木工場での説明会



藤田商事(株)藤田社長による説明会



藤田商事(株)北関東支店にて

# 委員会委員名簿

## <運営委員会>

委員長	久木田一成	大阪	櫻井鋼鐵(株)
委員	三上 聰彦	東京	ノボル鋼鐵(株)
	熊谷多津旺	名古屋	クマガイ特殊鋼(株)
	福森 康一	協会	(社)全日本特殊鋼流通協会
	福岡 富司	東京	(株)福岡ハガネ商店
	藤原 久芳	東京	ヤマト特殊鋼(株)
	竹内 誠二	東京	(株)竹内ハガネ商行
	小山 東輔	大阪	小山鋼材(株)
	樋口 克彦	大阪	(株)天彦産業
(新)	佐久間貞介	名古屋	佐久間特殊鋼(株)
(新)	川本 芳裕	名古屋	川本鋼材(株)
(新)	菊地太久治	東北	(有)菊地ハガネ
(新)	長谷川嘉宣	北関東	(株)長谷川ハガネ店
	佐藤 修康	神奈川	佐藤ハガネ(株)
	山浦 康雄	静岡	(株)サンコー
	木村 雅昭	広島地区	深江特殊鋼(株)
(新)	吉永 優	九州	特殊鋼機(株)

## <総務委員会>

委員長	福岡 富司	東京	(株)福岡ハガネ商店
委員	相場 亮嗣	東京	相場商事(株)
	竹内 誠二	東京	(株)竹内ハガネ商行
	仲 晃生	東京	伊藤忠丸紅特殊鋼(株)
	中川陽一郎	東京	中川特殊鋼(株)
	湊 義明	東京	野村鋼機(株)
(新)	井上 寿一	大阪	井上特殊鋼(株)
	小林 廣重	大阪	小林鋼材(株)
(新)	樋田 浩三	名古屋	(株)三悦
(新)	鷺野 光司	名古屋	名古屋特殊鋼(株)
	津村 春美	九州	提鉄鋼(株)

## <内外交流委員会>

委員長	樋口 克彦	大阪	(株)天彦産業
委員	藤田 忠義	東京	藤田商事(株)
(新)	渡辺 克彦	東京	大同マテックス(株)
	斎賀 芳光	大阪	扇鋼材(株)
	小坂 鎮雄	名古屋	(株)愛鋼
	樋 巳芳	名古屋	辰巳屋興業(株)
(新)	鴨山 明正	神奈川	東海鋼鐵(株)
	山浦 康雄	静岡	(株)サンコー

## <人材育成委員会>

委員長	熊谷多津旺	名古屋	クマガイ特殊鋼(株)
委員	碓井 達郎	東京	碓井鋼材(株)
	古川 浩	東京	青山特殊鋼(株)
(新)	勝野 茂	大阪	三和特殊鋼(株)
	林田 耕平	大阪	林田特殊鋼材(株)
	川本 芳裕	名古屋	川本鋼材(株)
(新)	田島 徹也	名古屋	(株)テクノタジマ
(新)	菊地太久治	東北	(株)菊地ハガネ
(新)	五味 潤 努	神奈川	五味潤鋼鐵(株)

## <調査研究委員会>

委員長	藤原 久芳	東京	ヤマト特殊鋼(株)
委員	仲谷 雅博	東京	石原鋼鐵(株)
(新)	岡本 直樹	東京	(株)マクスコーポレーション
(新)	小山 東輔	大阪	小山鋼材(株)
(新)	佐々木 洋	大阪	佐々木鋼業(株)
(新)	小野 章男	名古屋	(株)岡谷特殊鋼センター
	藤巻 武利	名古屋	(株)藤巻本店
	宮内 保	北関東	小山鋼材(株)
	木村 雅昭	広島地区	深江特殊鋼(株)

## <商慣行近代化委員会>

委員長	佐久間貞介	名古屋	佐久間特殊鋼(株)
委員	細田 剛	東京	日栄鋼材(株)
	森田 守之	東京	森田産商(株)
	山田 雅郎	東京	(株)ヤマコー
	久木田一成	大阪	櫻井鋼鐵(株)
(新)	福原 實晴	大阪	南海鋼材(株)
	伊藤 秀樹	名古屋	孟鋼鐵(株)
	木村 久男	広島地区	深江特殊鋼(株)
	吉永 優	九州	特殊鋼機(株)

## <青年部会>

部会長	木村 雅昭	広島地区	深江特殊鋼(株)
副部会長	碓井 達郎	東京	碓井鋼材(株)
副部会長	濱田 訓通	東京	(有)浜田ハガネ店
副部会長	堀田 靖	大阪	(株)堀田ハガネ
副部会長	浅野 薫仁	名古屋	浅野鋼材(株)
副部会長	松岳 大樹	名古屋	(株)トーキン
副部会長	宮内 保	北関東	小山鋼材(株)
運営委員	井川 竜吉	東京	(株)井川鋼店
	鈴木 裕人	東京	東和ハガネ(株)
	福岡 敬司	東京	(株)福岡ハガネ店
	山田 雅郎	東京	(株)ヤマコー
	井上 寿一	大阪	井上特殊鋼(株)
	櫻井 透	大阪	櫻井鋼鐵(株)
	古池 晃	大阪	古池鋼業(株)
(新)	保田 嘉嗣	大阪	保田特殊鋼(株)
	川北 誠	名古屋	川北特殊鋼(株)
(新)	近藤 泰幸	名古屋	(資)近藤ハガネ商店
(新)	佐橋健一郎	名古屋	サハシ特殊鋼(株)
	澤津橋聖司	名古屋	(株)司鋼商会
(新)	出口 弘親	名古屋	スチールテックデグチ(株)
	寺西 基治	名古屋	(株)山一ハガネ
	中島 伸夫	名古屋	中島特殊鋼(株)
	樋田 浩三	名古屋	(株)三悦
	山村 弥	名古屋	山鋼精機(株)
	五味 潤 努	神奈川	五味潤鋼鐵(株)

# 支部役員名簿

## [東京支部]

支 部 長／竹内 誠二  
副支部長／藤原 久芳・藤田 忠義  
井川 富雄・渡辺 政和  
監 事／青山 利男・鈴木 弘

### (運営委員会)

委 員 長／竹内 誠二  
委 員／中川陽一郎・石原 清  
浜田 訓通・新井 信三  
井上 一浩・仲 晃生  
中山深三郎・浜野 弥一  
古川 浩・碓井 達郎  
佐々木裕志・菅 武夫  
山下 憲明・平井 良平  
椎名 孝司・藤田 忠義  
渡辺 克彦・奥野 豊  
岡本 直樹・山田 雅郎  
清水 邦彦・湊 義明  
細田 剛・加藤 昌利  
五箇 一善・平野 健二

### (総務部会)

部 会 長／中川陽一郎  
副部会長／石原 清・浜田 訓通  
委 員／新井 信三・井上 一浩  
仲 晃生・中山深三郎  
浜野 弥一

### (内外交流部会)

部 会 長／藤田 忠義  
副部会長／渡辺 克彦・奥野 豊  
委 員／岡本 直樹・清水 邦彦

### (人材育成部会)

部 会 長／古川 浩  
副部会長／碓井 達郎・佐々木祐志  
委 員／菅 武夫・山下 憲明  
平井 良平・椎名 幸司

### (広報部会)

部 会 長／湊 義明  
副部会長／細田 剛  
委 員／加藤 昌利・五箇 一善  
平野 健二・山田 雅郎

## [大阪支部]

支 部 長／樋口 克彦  
副支部長／小林 廣重・小山 東輔  
林田 耕平  
監 事／福嶋 勇・森 肇  
名誉顧問／井上 豊治

### (運営委員会)

委 員／柏原 伸行・安藤 敏巳  
石村 博・粟井 斎  
猪川 修司・井上 寿一  
斎賀 芳光・奥野 稔  
久木田一成・佐々木 洋  
勝野 茂・柴田 宗之  
豊田 一郎・田嶋 善雄  
福原 實晴・小林 秀生  
橋本 剛・古池 幹郎  
堀田 靖・松井 和三  
松下 裕彦・山崎 裕康  
山田 隆夫・吉田 正  
庄司 浩三

### (総務部会)

部 会 長／小林 廣重  
副部会長／井上 寿一  
委 員／松井 和三・山田 隆夫  
吉田 正・庄司 浩三

### (内外交流部会)

部 会 長／樋口 克彦  
副部会長／斎賀 芳光  
委 員／石村 博・粟井 斎  
猪川 修司・田嶋 善雄

### (人材育成部会)

部 会 長／林田 耕平  
副部会長／勝野 茂・山崎 裕康  
委 員／柴田 宗之・豊田 一郎  
小林 秀生・橋本 剛

### (調査研究部会)

部 会 長／小山 東輔  
副部会長／佐々木洋  
委 員／安藤 敏巳・堀田 靖  
松下 裕彦

### (商慣行近代化部会)

部 会 長／久木田一成  
副部会長／福原 實晴  
委 員／柏原 伸行・奥野 稔  
古池 幹郎

## [名古屋支部]

支 部 長／川本 芳裕  
副支部長／鷲野 光司・樋 巳芳  
藤卷 武利・伊藤 秀樹  
監 事／黒田 秀夫・北野 庸夫  
名誉顧問／田島 清・佐橋 正彦

### (運営委員)

委 員 長／佐久間貞介  
委 員／小坂 鎮雄・小野 章男  
川北 誠・熊谷多津旺  
佐橋健一郎・樋田 浩三  
澤津橋 平・鈴木 信介  
遠藤 定道・田島 徹也  
松岳 大樹・永田 裕通  
寺西 基治・松岡 隆司

### (総務部会)

部 会 長／鷲野 光司  
委 員／川北 誠・樋田 浩三  
鈴木 信介

### (内外交流部会)

部 会 長／樋 巳芳  
委 員／小坂 鎮雄・澤津橋 平

### (人材育成部会)

部 会 長／川本 芳裕  
委 員／熊谷多津旺・佐橋健一郎  
遠藤 定道・田島 徹也  
松岳 大樹・松岡 隆司

### (調査研究部会)

部 会 長／藤卷 武利  
委 員／小野 章男・寺西 基治

### (商慣行近代化部会)

部 会 長／佐久間貞介  
委 員／伊藤 秀樹・永田 裕通

## [東北支部]

支 部 長／菊地太久治  
副支部長／吉成 信一  
会 計／上析 克彦  
監 事／早坂 幸彦  
相 談 役／加茂 利一

### (運営委員会)

委 員／菊地太久治・吉成 信一  
加茂 利一・寛 祐一  
上析 克彦・早坂 幸彦

木村 義男・小室 清志  
小島 健志・小林 春信  
小野寺 敏

(総務部会)

委 員／笥 祐一

(内外交流部会)

委 員／小林 春信

(人材育成部会)

部 会 長／木村 義男  
副部会長／小室 清志

(調査研究部会)

委 員／小島 健志

(広報部会)

委 員／小野寺 敏

[北関東支部]

支 部 長／長谷川嘉宣

副支部長／船田 正 ・ 宮内保

会 計／久野 光龍

監 事／鈴木 至典・斎藤 和夫

(運営委員会)

委 員／長谷川嘉宣・船田 正  
宮内 保 ・ 久野 光龍

鈴木 至典・斎藤 和夫  
田中 秀一・斎藤 信輝  
戸村 正美・高橋 康男  
金井 正三・原 信之  
徳宿 誠 ・ 長瀬 富彦  
和田 修

(総務部会)

部 会 長／田中 秀一

委 員／牧野勇一郎

(内外交流部会)

部 会 長／長瀬 富彦

副部会長／和田 修

委 員／井上 忠 ・ 武田 彰久

大沢 正志・坪井 罔明

宮島 樟二

(人材育成部会・パソコン関係)

部 会 長／斎藤 信輝

副部会長／戸村 正美

委 員／笹本 泰彦・山洞 貴正

渡辺 健治

(人材育成部会・研修講座関係)

部 会 長／高橋 康男

副部会長／金井 正三

委 員／大濱 啓二・橋本 勝

神尾 孝義・久保田広治

大里 雅一

(調査研究部会)

部 会 長／原 信之

副部会長／徳宿 誠

委 員／和田 史郎

[静岡支部]

支 部 長／山浦 康雄

副支部長／北沢 和博・山本 明好

会 計／竹内 広嗣

監 事／有賀 金一

(運営委員会)

委 員／三上 忠明・原 博康

[九州支部]

支 部 長／吉永 優

副支部長／津村 春美・谷中 正弘

左 達男

監 事／松田 勝幸

(運営委員会)

委 員／室田 修身・津村 春三

吉永 優 ・ 谷中 正弘

渡邊 洋一・長 伸行

松田 勝幸・左 達男

八木司雅賢・向田 紀夫

# 平成14年度 「特殊鋼販売技士」合格者のお知らせ

## ■平成14年度 特殊鋼販売技士2級研修講座合格者数

検定試験日：平成14年10月24日（木）13：00～15：00全国同時開催  
 合格判定会議：平成14年11月11日（火）12：00～14：00  
 （於：東京・鐵鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室）

支部名	受講者	受験者数	合格者数
東京	38	36	33
大阪	27	27	26
名古屋	42	42	39
東北	15	15	13
北関東支部	13	13	12
静岡支部	18	18	18
合計	153	151	141

### 100点取得者 4名

[大阪支部] 櫻井鋼鐵(株)富山 今井 大氏  
 [名古屋支部] 株式会社磨床鋼センター 石川 英二氏  
 サハシ特殊鋼(株) 鈴木 智靖氏  
 [北関東支部] 興進特殊鋼(株) 星野 住夫氏

以上

## 平成14年度 特殊鋼販売技士 2級合格者名簿

### 東京支部

#### Aグループ（構造用鋼）

##### 合格者14名

山本 達也 (株)マクスコーポレーション  
 折原 光則 //  
 斎藤 悦弘 川鉄商事(株)  
 名児耶 孝 王子製鉄(株)  
 宮塚 昇 大同興業(株)  
 高橋 洋晶 辰巳屋興業(株)  
 伊藤 基浩 浅井産業(株)  
 神取 俊夫 野村鋼機(株)  
 杉木 要 (株)平井  
 石川 幸喜 //  
 渡辺 哲也 日産トレーディング(株)  
 山崎 斎男 清水特殊鋼(株)  
 杉本 健司 伊藤忠丸紅特殊鋼(株)  
 西沢 宏仁 中川特殊鋼(株)

#### Bグループ（工具鋼）

##### 合格者10名

西坂 幸大 日栄鋼材(株)  
 服部 誠 //  
 川上 敦 ナチ鋼材(株)  
 高津佳一郎 大同特殊鋼(株)  
 岡野 武志 中山商工(株)  
 児玉 宏一 //  
 柄田 卓哉 日立金属(株)  
 宮崎 弘行 青山特殊鋼(株)  
 能見 健史 石原鋼鉄(株)  
 水野 剛志 (株)宏和商会

#### Cグループ（ステンレス鋼）

##### 合格者9名

荒牧 孝 秋山精鋼(株)

森 久之 秋山精鋼(株)  
 河嶋 忍 野村鋼機(株)  
 石川 征孝 (株)シルド  
 牧田 充浩 //  
 遠藤 博幸 //  
 広岡 信行 大同特殊鋼(株)  
 隅田 隆明 //  
 古瀬 努 //

### 大阪支部

#### Aグループ（構造用鋼）

##### 合格者11名

岡本 佳大 (株)神戸製鋼所  
 中村 誠治 アサヒスチール(株)  
 田中 俊章 カネヒラ鉄鋼(株)  
 弦巻 和通 //  
 樋口 勇人 //  
 小中 義信 //  
 今井 大 櫻井鋼鐵(株)富山  
 辻 明寛 三和特殊鋼(株)  
 出田 秀樹 (株)天彦産業  
 北岡 万輝 林田特殊鋼材(株)  
 山崎 秀樹 山崎鋼機(株)

#### Bグループ（工具鋼）

##### 合格者9名

大西 祥二 大同アミスター(株)  
 東口庄一郎 //  
 澤 健治 日立金属(株)  
 古塚 博行 ウメトク(株)  
 西坂 和彦 //  
 田中 栄次 三和特殊鋼(株)  
 金 雷 //  
 黒瀬 洋二 日栄鋼材(株)関西支店  
 山口 肇治 (株)バルテック

#### Cグループ（ステンレス鋼）

##### 合格者6名

塚田 幸弘 大同特殊鋼(株)  
 内藤 浩樹 //

富田 則子 大同特殊鋼(株)  
 永洞 健 秋山精鋼(株)  
 上村 修一 (株)北陸ヨシナカ  
 守道 誠廣 //

### 名古屋支部

#### Aグループ（構造用鋼）

##### 合格者15名

石川 英二 (株)交邦磨床鋼センター  
 西澤 一彦 //  
 水谷 俊幸 辰巳屋産業(株)  
 井上 雅文 (株)テクノタジマ  
 戸田 匡史 //  
 山田 高裕 //  
 廣岡 利修 愛知製鋼(株)  
 小栗 匡介 大同特殊鋼(株)  
 飛田 文晴 //  
 桜井 大輔 //  
 北原 圭 //  
 小粥 裕司 陽鋼物産(株)  
 井関 弘明 井上特殊鋼(株)  
 横内 博昭 //  
 鯉川 章平 //

#### Bグループ（工具鋼）

##### 合格者19名

中村 剛 ウメトク(株)  
 大津 光生 //  
 金井謙太郎 //  
 翠 教寛 黒田特殊鋼(株)  
 三輪 利道 サハシ特殊鋼(株)  
 浅井 芳規 大和興業(株)  
 青木 義久 孟鋼鐵(株)  
 野村 和正 中野ハガネ(株)  
 森口 慶一 //  
 田中 正之 //  
 五藤 貢 名古屋特殊鋼(株)  
 久網 恒夫 //  
 米倉 雅晃 //  
 眞田 明 //  
 鈴木 純司 (株)山一ハガネ  
 田中 大輔 //  
 大場 康晴 //  
 大見 英貴 //  
 一廣 長史 大同興業(株)

#### Cグループ（ステンレス鋼）

##### 合格者5名

弓削 立夫 佐久間特殊鋼(株)  
 石原 照久 サハシ特殊鋼(株)  
 鈴木 智靖 //  
 矢部 康之 大和特殊鋼(株)  
 間立 吉男 斎藤鋼材(株)

### 東北支部

#### Aグループ（構造用鋼）

##### 合格者4名

新保 篤 協伸メタル(株)  
 小林 卓司 テー・ビー・ケー(株)  
 阿部 清 //  
 松原 利光 清水金属(株)

#### Bグループ（工具鋼）

##### 合格者9名

遠藤 仁 (株)竹内ハガネ商行

佐藤 隆 (株)佐藤忠蔵商店  
 後藤 英夫 //  
 佐々木真琴 ノボル鋼鉄(株)  
 菅原 徹 協伸鋼(株)  
 鈴木 秀康 //  
 大山 英夫 //  
 大橋 英博 //  
 千葉 繁樹 メタルスプレート(株)

### 北関東支部

#### Bグループ（工具鋼）

##### 合格者12名

星野 住夫 興新特殊鋼(株)  
 富岡 和也 フナダ特殊鋼(株)  
 羽田 幸也 (株)竹内ハガネ商行  
 真下 貴行 (株)鈴木機械  
 桜井 浩二 //  
 長瀬 勝彦 ナガセ鋼機(株)  
 長瀬 泰輝 //  
 山崎 和志 (株)長谷川ハガネ店  
 下山 聖 (株)マキノスチール  
 星野 守 //  
 海老原一徳 小山鋼材(株)  
 館野 正春 //

### 静岡支部

#### Aグループ（構造用鋼）

##### 合格者7名

藤田創一郎 井上特殊鋼(株)  
 吉田 光孝 //  
 伊藤 健司 ノボル鋼鉄(株)  
 鈴木 洋 //  
 杉浦 貴志 //  
 日高志乃ぶ //  
 漆畑 雄亮 //

#### Bグループ（工具鋼）

##### 合格者11名

山下 昌彦 ウメトク(株)  
 野本 太郎 //  
 西山 和之 //  
 井村 三洋 //  
 武田 誠一 //  
 田中 道広 (株)サンコー  
 窪野 晃嗣 佐久間特殊鋼(株)  
 友枝 孝太 日栄鋼材(株)  
 藤原 昌史 ノボル鋼鉄(株)  
 望月 裕之 //  
 佐野 俊夫 //

## ■平成14年度 特殊鋼販売技士3級研修講座合格者数

検定試験日：平成14年7月4日（木）13：00～15：00

支部名	受講者	受験者数	合格者数
東京支部	77	76	75
名古屋支部	66	65	64
北関東支部	12	14	14
合計	155	155	153

### 100点取得者 8名

[東京支部]	扇鋼材(株)東京営業所	八高 寛隆氏
	大同特殊鋼(株)	稲村 房江氏
	三菱商事(株)	山田 礼子氏
	日立金属商事(株)	井田 知秀氏
	王子製鉄(株)	名見耶 孝氏
[北関東支部]	(株)鈴木機械	桜井 浩二氏
	ナガセ鋼機(株)	長瀬 泰輝氏
	マキノスチール(株)	星野 守氏
		以上

## 平成14年度 特殊鋼販売技士 3級合格者名簿

### 東京支部

#### 合格者75名

今井 誠 (株)鐵鋼社
山片 康人 //
鈴木 俊一 (株)鈴木鋼商店
塚越 勇介 塚越特殊鋼(株)
久我美佳子 小山鋼材(株)
河嶋 忍 野村鋼機(株)
本間 弘展 //
水野 剛志 (株)宏和商会
伊藤 基浩 浅井産業(株)
八高 寛隆 扇鋼材(株)
渡辺 哲也 日産トレーディング(株)
山崎 斎男 清水特殊鋼(株)
益子 秀宗 (株)ブルータス
津波古健志 //
宮崎 弘行 青山特殊鋼(株)
杉木 要 (株)平井
大山 隆明 (株)特殊金属ウケル
泉本 唯 //
古瀬 努 大同特殊鋼(株)
隅田 隆明 //
野田美津江 //
廣岡 信行 大同特殊鋼(株)
稲村 房江 //
川田 雅也 //
高津佳一郎 //
成田 恵子 //
新井信太郎 三菱製鋼(株)
山尾 明 //
友永 鎮彦 //
能見 健史 石原鋼鉄(株)
山田 礼子 三菱商事(株)
石川 幸喜 (株)平井
西沢 宏仁 中川特殊鋼(株)
室井 文明 //
上野 操 (株)富士シャフト
間宮 広行 //
星野 徳人 芝本産業(株)
諏訪田 尚 //
竹内 徹 三竹シャフト(株)
井田 知秀 日立金属商事(株)
高谷 和弘 山陽特殊鋼(株)
水口 秀亮 //
斎藤 悦弘 川鉄商事(株)
高橋 洋晶 辰巳屋興業(株)
丹羽 敏彦 大同特殊鋼(株)
藤川 裕之 秋山精鋼(株)
岡田 清孝 //
上平 誠之 //
吉川 聡 王子製鉄(株)
名見耶 孝 //

昭和51年(1976年)よりの累計数

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	神奈川	静岡	九州	その他	計
実務編	119	76	53			1				249
基礎編	400	447	232	100	22	26	26	40	72	1,365
計	519	523	285	100	22	27	26	40	72	1,614

平成6年(1994年)よりの累計数

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	神奈川	静岡	九州	その他	計
合計	4,210	3,417	2,224	291	163	91	306	156	296	11,154

鈴木 裕之 (株)UEX
清水 良成 //
安西 拓 佐藤商事(株)
黒沢 良二 //
牧田 充浩 (株)シルド
石川 征孝 //
遠藤 博幸 //
池淵 誉央 日栄鋼材(株)
安斎 勇一 大洋商事(株)
伊藤 孝行 //
檀原 輝久 日産トレーディング(株)
日下 容康 東北特殊鋼(株)
川村 和弘 //
児玉 宏一 中山商工(株)
岡野 武志 //
川上 敦 ナチ鋼材(株)
神取 俊夫 野村鋼機(株)
溝尾 岳史 大同特殊鋼(株)
中野 博之 //
高橋 利雄 大同アミスター(株)
藤森 勝利 //
西田 陽一 大同興業(株)
寺田 隆之 //
濱田 浩幸 新津田鋼材(株)
神定慎一郎 インターナショナルアロイ(株)
滝 升博 大和特殊鋼(株)
塚本 将成 (株)竹内ハガネ商行
山室 義勝 //
原田 修男 孟鋼鐵(株)
水谷 俊幸 辰巳屋興業(株)
浅野 和美 (株)出口鋼商店
深谷 秀幸 中島特殊鋼(株)
野村 和正 中野ハガネ(株)
森口 慶一 //
田中 正之 //
柘植 克之 名古屋特殊鋼(株)
宮沢 知樹 //
平田 哲士 //
藤原 俊太 (株)藤巻本店
金谷 秀樹 //
安村 文人 //
村瀬 眞澄 前田鐵鋼(株)
土屋 義徳 //
増田 秀光 //
山中 雄二 //
市橋 季明 (株)名岐
鈴木 純司 (株)山一ハガネ
田中 大輔 //
大場 康晴 //
鈴木 孝教 愛知製鋼(株)
廣岡 利修 //
一廣 長史 大同興業(株)
鈴木 洋子 大同特殊鋼(株)
小栗 匡介 //
飛田 文晴 //
皆川 法誉 //
桜井 大輔 //
北原 圭 //
岡部 洋 日商岩井(株)
大橋 由幸 //
間立 吉男 齊藤鋼材(株)
小粥 裕司 陽鋼物産(株)

### 名古屋支部

#### 合格者64名

増田 豊 愛鋼(株)
真野 友和 //
石田 晶哉 石田特殊鋼(株)
石田有貴男 //
横内 博昭 井上特殊鋼(株)
鯉川 章平 //
真継 俊輔 ウメトク(株)
見出 忠 //
大島 光喜 小倉鋼機(株)
市来 信治 //
石黒 敬史 川本鋼材(株)
水野 真一 //
武藤 久義 //
翠 教寛 黒田特殊鋼(株)
西澤 一彦 (株)交邦磨棒鋼センター
石川 英二 //
齋藤 幸久 //
大西 正記 佐久間特殊鋼(株)
阪口 元春 //
平野 知子 //
村田 嗣夫 //
鈴木 智晴 サハシ特殊鋼(株)
三輪 利道 //
加古 真裕 (株)三悦
山田 和豊 //
渡辺 拓也 //
新美賢太郎 大和興業(株)

### 北関東支部

#### 合格者14名

山崎 和志 (株)長谷川ハガネ店
桜井 浩二 (株)鈴木機械
真下 貴行 //
羽田 幸也 (株)竹内ハガネ商行
長瀬 泰輝 ナガセ鋼機(株)
下山 聖 (株)マキノスチール
星野 守 //
宇都宮道春 日栄鋼材(株)
田島 一哉 荻原物産(株)
柳沢 和夫 //
小野 剛志 //
広瀬 明浩 小山鋼材(株)
海老原一徳 //
富岡 和也 フナダ特殊鋼(株)

## ■「特殊鋼販売技士」「特殊鋼販売加工技師」支部別有資格認定者累計表 平成14年11月11日現在

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	神奈川	静岡	九州	その他	計
1級	697	595	274	33		4	36		1	1,640
2級	1,170	1,087	623	55	56	4	80	54	40	3,169
3級	1,824	1,212	1,042	103	85	56	164	62	183	4,731
計	3,691	2,894	1,939	191	141	64	280	116	224	6,540

### 特殊鋼販売技士 支部別有資格認定者

### 特殊鋼販売加工技士 支部別有資格認定者

### 特殊鋼販売技士・販売加工技師 支部別有資格認定者累計表



# 新・支部長訪問

本年6月の役員改選期にあわせ、各支部で支部長の交替が行われています。新支長が選出された各支部は、以下の通りです。

- 大阪支部 樋口克彦氏 <(株)天彦産業社長>
- 名古屋支部 川本芳裕氏 <川本鋼材(株)社長>
- 東北支部 菊地太久治氏 <(有)菊地ハガネ社長>

## 大阪支部 樋口克彦 支部長

### 支部をブロック運営することで 隅々からの声に期待する



#### ■支部を5ブロック化し意見交換会を

新支部長を引き受けさせていただき、まず着手したのは、大阪支部を5つのブロックに分けたことです。これは「影の声」をもっと吸い上げようという目的です。ご存知のように大阪支部は、会員企業数115社にのぼる大所帯です。しかし実情は、総会および賀詞交換会に参加されないという会員が実に多い。そんななか、ひそかにあったのが「会費が高い」という不満で、これは、必ずしも金額が高い安いではなく、収めている金額と協会への満足感が見合わないということです。要するに、協会への参加意識が乏しければ、協会からのメリットも感じにくいということでしょう。

全特協が社団法人化され、公益性が重視されるようになって、皆さん、必要以上に堅くなったという面があります。本業のほうあまりにも大変で公益活動どころではないというのも理解できます。そんななかの「影の声」を吸い上げていかなければいけないと感じ、8~9月にかけて5つのブロックごとに私自身が足を運び、意見交換にまわりました。

#### ■ブロック会議を支部事業として継続

各ブロックでの意見交換会をふまえて、10月3日(木)に大阪正副部会長会で討議した結果を、順次ご報告申し上げます。

まず、「ブロック会議」については今後正式な事業として継続します。年2回を

目安に開催し、今回は来年2月頃の予定です。最初からあまり堅苦しい雰囲気、議題で臨むと長続きしない恐れがあるので、まずは懇談を中心に徐々にグレードアップしていく考えです。なお、各運営委員は各ブロックからまんべんなく選出しています。そうすることで、より多くの会員の方に支部運営に携わっていただき、結果的に協会への参加意識向上や、「影の声」も「表の意見」として出てくるのが期待できるからです。まずは、人間関係を親密にして、「協会に参加して楽しかった」という思いを実感していただきたいものです。

その他現時点での検討項目では、商慣行部会で来年2月に若手社員の会を行うことを予定し、今後、内容の詳細を部会で検討します。内外交流部会では、来年3月頃を目標にホンダ工場見学会を検討しています。さらに、来年5月の中国・大連での国際特殊鋼展を念頭において、2泊3日または3泊4日程度と小規模企業も参加しやすい海外研修を検討中です。

詳細は調査研究部会で検討中ですが、支部独自のアンケートも実施したい。意識、関心、または趣味など支部との関わりを意識してもらえることが第一目的になると考えています。

#### ■参加して「楽しい・面白い」支部に

上記、大阪正副部会長会での検討・討議でひとまず支部が目指す第一ステッ

プが見えてきたという感じです。

いずれにしても、会員のみならず大阪支部は「何をやろうとして何をやっているのか」を分かりやすく情報開示してご理解を得ていかなければなりません。厳しい経営環境を反映して、協会事業へは、なかなかご参加いただけないのが現状ですが、今後は、多少なりとも有益で大いに面白味のある事業運営を考えなければいけないと考えています。人材教育を手はじめに、一般社員レベルまで支部運営に参加できるように検討していきたいと考えています。

余計なおせっかいと思われるかも知れませんが、私の職場にも年頃で独身の若者が大勢います。「なんで結婚しないんだ」と聞くと、「出会いがない」という。協会を男女の出会いの場にしようとは思ってはいませんが、広くもない同業の仲間が集まってより多くの人と出会い、「みんなこんなにかんばっているんだ」と刺激を受け合い、まあ老婆心ながら、そういう話があってもいいと思います。

いずれにしても、大阪支部に参加して「全特協はこんなに楽しい、面白いんだ」という実感を、一般社員レベルまで拡大していきたいですね。そうした人間関係作りの場として、大阪支部が役割を果たせば、今後の、会員企業間の有益な情報交換にも役立つと考えております。

●北関東支部 長谷川嘉宣氏 <(株)長谷川ハガネ社長>

●九州支部 吉永優氏 <特殊鋼鋼機(株)>

「すてい〜る」では新支部長を訪問し、今後の支部運営への取り組みなど、新支部長としての抱負などを伺っていきます。今回登場いただく新支部長は、樋口克彦大阪支部長と川本芳裕名古屋支部長です。

## 名古屋支部 川本芳裕 支部長



### 教育事業による相互啓発から 参加意識を高めたい

#### ■協会への参加意識を高めるために

名古屋支部では1期2年の年限で、支部長はもちろん、その他運営委員も交替することで人事を行っています。これは、できるだけ多くの会員企業の方々に支部運営に携わっていただき、協会への参加意識が高まればという願いからです。

こうして発足した名古屋支部の新体制。もちろんこれまでの支部運営、協会運営とがらっと一新とはいきませんが、社団法人としてどういったことをやっていくのかを、会員の皆さまに分かりやすくしていきたいと考えています。

#### ■教育に関する事業をメインに据えて

私自身、以前に人材育成委員会の仕事をやらせていただいておりました経験から、社団法人として分かりやすい事業はやはり教育に関わることではないかと考えています。たとえば一昨年から、新入社員を対象にした基礎教育や、工場見学会などを行ってきました。

教育事業のメリットは、特に中小・零細企業では、1社で社員教育をしようと思ってもなかなか難しいのが現実です。そうした観点からも教育を通じて会員の皆さまと関わっていくことが、今後の活動の中心になると考えています。

教育に関する事業の利点は、会員企業のあらゆる社員が対象になることです。旧来の一般的な組合活動では、経営トップや上層部のみが参加しての会合というイメージが強かったのですが、女子社員を含む

一般社員を中心に参加意識を高め、同じ業界内でどんな活動をしているのかを知ってもらい、相互啓発につながればいい。もちろん、堅苦しい話題ばかりでなく雑学の要素なども取り入れてやって行こうと考えています。これまでも女子社員研修では、カラーコーディネーターの先生によるセミナーやその後の懇親会での意見交換などの実績があります。

実際、そうした活動により、ひとつの業界内で、一緒にがんばっている仲間がいることを知り、お互いが刺激され、おこがましいかも知れませんが、皆さんのレベルアップに寄与できるのではないかと考えています。

今期は、11月に中堅社員対象の講習会を行います。概要は、仕事に対する「生きがい」「やりがい」を見だし、営業マンのモチベーションを高めようというものです。企業経営の目的をはじめとして「企業とは何か」、自社そして自分は「何業なのか」などを再確認し、仕事と生きがいを考え、自己啓発・自己研鑽を図っていく研修内容を予定しています。

#### ■人と人の絆があってこそその協会活動

ただし、教育以外の分野では効果をあげることがなかなか難しいのも現状です。組合として考えれば、会員相互の利益向上に直結するような効果ある活動ができればいいのかも知れませんが、公取委などの問題もあって協会として、そうした切り口で運営はできない。商慣行近代化的な事

業もすべての会員で取り上げていくのはなかなか難しいので、長期的なメリットを考えれば、やはり教育に関する事業が扱いやすい。しかし、会員同士の経営に踏み込んだ話をするにも、まず人間関係ありきで信頼関係が築けてこそ可能になるのではないかと感じます。

もっとも、人間関係的には名古屋はうまくいっているほうだと思います。中部地区はユーザー志向が他の地域よりも早いせいなのか、各社がそれぞれのユーザーニーズに合わせて脱皮しています。特殊鋼という大きな枠内ではあるけれども、案外やっていることはそれぞれが違っていたりする。そのへんが、会員同士がうまくいっている理由かもしれません。また、名古屋は2代目が多い支部で、年齢層も50代に固まっている。同じ時代と環境で育ってきたせいで、お互い話しやすいのも確かです。

商売上でのメリットという点でも、共同配送などの物流の合理化などでは、会員相互での協力がすでにあたります。もちろん、そういった話題は協会ですることではありませんが、協会事業を媒介にした人間関係のなせる業だとは思っています。

有益な情報交換は、やはり人間関係があってこそです。情報とは「情けに報いる」とも読めますよね。人の情け、人情があってこそその賜物だと思います。地元にも古くからあった若手の芙蓉会での活動。そして、そこから全特協の運営委員へと皆あがってきていますから、そうしたもろもろの積み重ねが実を結びつつあるのかも知れません。

# 私の愉しみ

(株)平井・取締役社長／平井良平



## 盆栽とは、自分と静かに向き合うもの

～盆栽50年わが人生～

### ■盆栽50年、国風盆栽展の常連

「国風盆栽展」(主催(社)日本盆栽協会)は、全国数百万鉢と言われる盆栽のなかから200点ほどしか出展できない盆栽界の、伝統と権威を誇る展覧会である。この開催76回となる国風盆栽展に、連続28回、通算37回の出展を果たしているのが、平井良平社長だ。

平井社長の植物に対する興味は幼年の頃からであり、小学生の頃には野や山の植物を持ち帰ったり、緑日で鉢植えを買ったりすることもしばしばだった。その理由は、病弱だった幼年時代に、自然と植物に心の安らぎを求め、それに勇気づけられていたのではないかと。本格的に盆栽を趣味としたのは昭和27-28年頃からで、現在では、大・小100鉢を超える盆栽を所有する。そのうちの10鉢は貴重盆栽に指定され、なかには樹齢500年を超える樹もある。そのすべてが、丹精こめて育成したものばかりである。

### ■鉢のなかで自然をも超える盆栽

平井社長所有の盆栽のいくつかを紹介したい。写真(1)の「杉」(第74回国風盆栽展)は高さ84cm。年月を経た崇高な御神木を思わせる雄姿だ。この盆栽の経歴は、40年ほど前に奥多摩の岩場の雑木林にあった弱弱しい杉で、4-5m位(樹齢20年)の根張り、立ち上がり、葉性、肌のよさに魅せられて、その場で70cmほどに切りつめて持ち帰り、数年育成、培養し芯を立て35年前に鉢上げし出展した。

写真(2)の「かりん」(第69回国風盆栽展)は高さ88cmで樹齢約150年の貴重盆栽。たくましい親幹に均等に

た小枝、肌の乱れ模様は樹齢にふさわしい姿だ。もちろん、春になれば青々と芽吹き、ピンクの花が咲き、秋には大きな実をつける。かつては武蔵野のどこにでもあった風景だった。

いずれの盆栽も鉢の部分を手で隠して見てみると、自然の姿がよみがえる。盆栽とは、人工的に自然をデフォルメするものではなく、鉢のなかに樹勢を封じ込めることで自然のままの姿を保ち、あるいは、自然界ですら困難な理想の形を実現するものである。それが、樹齢数百年という木でありながら青年のような若やいだ姿だ。

名品を育てるのに重要なのは、まず木の筋で、枝枯れや、傷があっても基の木がしっかりしていれば永年の愛情ある手入れで、もと以上の銘木になる。そして大事なことは、数十年にもおよぶ根気と盆栽への愛しみだ。平井社長は、毎朝一鉢一鉢ずつ対話をしながら、盆栽に鉢を入れ、水をやりながら今日一日の無事を考える。

### ■「忍耐・誠実・愛情」人生と盆栽は相通ず

平井社長が盆栽から得たものは、忍耐と誠実、愛情だという。仕事に難問があった時、夜中に盆栽を持ち込んで対話する。盆栽いわく…「吾は鉢のなかで元気で500年も生きている。己は70年ぐらいでへこたれるな!」と勇気づけられ明日の活力になる。

平井社長は、盆栽に勇気づけられ、耐え忍ぶことを教わった。

こうした経験はビジネスでも同様だったと振り返る。創業55年、特殊鋼一筋の社業にも幾多の困難はあったが、企業も生き物には変わらない。根気強く、希望とロマンを持ち続け、ユーザーと苦楽を共にした結果、今日報われたことも多い。平井社長いわく…「最初から盆栽は銘品に約束されているわけではない。商売でも最初からのお得意様はいない」



〈写真1〉第74回 国風盆栽展／杉



〈写真2〉第69回 国風盆栽展／貴重盆栽 かりん

# 突然おじゃま



## 清水特殊鋼(株) 取締役会長／清水官祐

東京都港区芝は山の手と下町の狭間にあるようだ。現在の第一京浜（R15号線）沿いの芝はオフィス街の一角だが、海側はかつては京浜工業地帯の中核をなすところであり、反対に山側は芝増上寺に続く寺町でもある。

今回おじゃました清水特殊鋼（株）は、第一京浜沿いの三菱自動車本社、日野自動車本社などの並びに社屋を構え、今年12月で創業50周年を迎える。創業時から先代社長である兄と会社の経営にあたり、2代目社長でもあった清水官祐会長を訪問した。

## 商売の信用・信頼とは、相手を自分の"信者"にすること

### ■デジカメとインターネットに没頭中

清水特殊鋼（株）取締役会長が、創業者である兄官吾氏（故人）の長男謙一氏に社長業を譲ったのは、平成10年3月のこと。昨年には代表権も外し、社業からは一歩離れた存在になった。

「こんな小さな会社に代表権を持つ人間が2人いてもしょうがないですから。会社の意思決定は一人が責任を持つべきだと思います。おかげで、ようやく肩の荷がおり、会社には時どき顔を出すだけ、業界からもだんだん遠ざかりつつあります」と笑う。

現在では、尾山台の自宅から電車で港区芝の本社に通う。

「健康のことを考えて、歩くようにしています。電車を乗り継げば、寄り道も含めて、案外歩数を稼げます」

今年で73歳になる清水会長の趣味はカメラと写真とパソコン。

「旅行のときなどは、結構な枚数を撮ります。特に最近凝っているのがデジタルカメラとパソコンです」

デジタルカメラの良さは、なんといてもフィルムの枚数を気にすることなくシャッターを押せること。撮影したカットはその場で確認できるから、ミスショットや不必要なカットは削除して、撮り直しもきく。「撮影から帰ってすぐに、写真をパソコンで見られるのもいい。また、インターネット上には無料で写真を編集できるアルバムがあるから、パソコンの操作と併せて楽しんでいます」

旅行から帰った日に、インターネットのアルバムに写真をアップし、パソコン仲間に写真付きで近況報告ができるのが楽しみだという。

### ■企業の存続を第一に考えた経営

清水会長が、特殊鋼の世界に足を踏み入れたのは昭和23年、19歳の時。旧青山特殊鋼の東京支店に入社して、実に半世紀以上になる。

清水会長には13歳年長の兄がいて、この兄清水官吾氏が、石原開発（現石原鋼鉄）出身の榎本鋼材（すでに解散）を経て、昭和27年12月に清水特殊鋼を創業。創業3年目の昭和30年に、官吾社長が胸の病で休業を余儀なくされたことから、旧青山特殊鋼の合併先である川鉄商事を退社して兄を助けるべく清水特殊鋼に入社した。

「その数年後から始まった高度成長の波とともに、地道ながら商売も順調でした。特にわが社は京浜工業地帯の間近にあり、将来までお得意さんには困らないだろうと思っていました」と、当時を振り返る。

昭和48年8月に初代官吾氏がガンのため死去。社長代行を務めていた清水会長が二代目社長となった。

「私たち兄弟の経営方針は先ず会社をつぶさないということだったんです。私たちの親父は、長野で蚕種（さんしゅ）を商っていたんですか倒産しまして。辛酸をなめた思いは痛いほど身にしみています」

そのため、二代目社長となった清水会長も、お得意様第一で、分相応の堅実経営を続けてきたという。

「バブル期にも投機、特に土地ですね。これ社業に必要な分は買ったが、それ以外には手を出さなかった。石橋を十分に叩いて渡ってきました。反面、今年で50年になる社歴の割には自慢できるほど会社は大き

くなっていませんが」と笑う。しかし、清水会長の会社自慢は、これまでに一度も赤字を出さなかったこと。そして無借金経営を続けてきたことだ。

「厳しい不況の時代、当社も暗中模索の真っ只中ですが、なんとか乗り切れるのではないかと考えています」

### ■経営者は社会に貢献する意識が必要

ハガネ屋になっての50年を振り返って清水会長はこう言う。

「昭和は、多少の景気のアップダウンはありましたが、高度成長もありみな順調に伸びてきた。平成になりバブル崩壊から成長も止まり、現状の苦しい時代に将来の明るい展望を見いだせず自信を失っているのが残念です。50年前の、敗戦から戦後復興にかけた日本人の情熱を今一度取り戻したい」

現実には勝ち組・負け組が出ている時代だから、生き残りには前向きな戦略が必要だと痛感するという。

「いつの時代もビジネスは誠実な取引関係と信頼が発展の基礎です。信頼・信用とは“相手を自分の信者にする”、これが商人が儲けるためのコツだと思います。そうしたことの積み重ねで、小さな会社で、立派な看板がなくても大きな取引ができると思う」

これから生き残っていくリーダーには、会社を良くして社会に貢献するという情熱と使命感が欠かせないと言う。

「若い人には柔軟な発想と何ごとにもチャレンジする意欲で、これからの時代を切り開いて欲しい」

# 理事会・委員会報告

## 第18回理事会

平成14年11月21日（木）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

### 1. 議案

次の議案（神奈川支部を東京支部に統合する件）について審議を行い承認した。

第1号議案 組織規程変更（案）承認の件

### 2. 報告事項

- ①平成14年度上期事業報告・収支決算について
- ②委員会報告
- ③事務局報告

## 第26回運営委員会

平成14年7月22日（月）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

### (1) 審議事項

- ①委員長の選出について  
運営委員会規程第3条第3項の規定に基づき久木田委員が運営委員長に選出された。
- ②今後の協会運営について  
三上会長より支部の活性化と会員の拡充を重点目標とし、併せて他団体、異業種業界とも積極的に交流を図っていきたいとの所信表明があった。

### (2) 報告事項

- ①支部報告
- ②委員会報告
- ③事務局報告

## 第27回運営委員会

平成14年11月21日（木）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

### (1) 審議事項

- ①組織規程変更（案）について（神奈川支部が東京支部に統合する件）
- ②第7回定時総会の開催地について

### (2) 報告事項

- ①平成14年度上期事業報告・収支決算について
- ②支部報告
- ③委員会報告
- ④事務局報告

## 第20回総務委員会

平成14年8月27日（火）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

### (1) 審議事項

- ①総務委員会委員長の選出について  
総務委員会規程第3条第3項の規定に基づき福岡委員が総務委員長に選出された。
- ②組織規程の変更（案）について（神奈川支部が東京支部に統合する件）
- ③年会費について
- ④委員会について

## 第21回総務委員会

平成14年11月19日（火）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

### (1) 審議事項

- ①第7回定時総会の開催地について

### (2) 報告事項

- ①平成14年度上期事業報告・収支決算について
- ②平成15年賀詞交換会について

## 第16回内外交流委員会

平成14年7月16日（火）

大阪・鉄鋼会館204号室

### (1) 審議事項

- ①内外交流委員会委員長の選出について  
内外交流委員会規定第3条第3項の規定に基づき樋口委員が内外交流委員長に選出された。
- ②平成14年度内外交流委員会事業について

### (2) 報告事項

- ①各支部内外交流部報告

## 第14回人材育成委員会

平成14年7月22日（月）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部会議室

### (1) 審議事項

- ①人材育成委員会委員長の選出  
人材育成委員会規定第3条第3項の規定に基づき熊谷委員が人材育成委員長に選出された。
- ②平成14年度人材育成委員会事業について

## 1 韓国特殊鋼流通業者来日

平成14年11月4日～7日韓国の特殊鋼流通業者16社の代表が来日しました。これは、去る4月に全特協が実施した韓国特殊鋼流通事情視察研修に応える形で、両国の交流が実現したものです。

全特協が昌原特殊鋼（株）を訪問した際に、同社から「韓国の特殊鋼流通業者が日本の特殊鋼メーカーを見学したいが全特協で仲介して欲しい。」との申し入れがありました。

全特協は愛知製鋼（株）と大同特殊鋼（株）に御相談したところ、両社とも訪問を快諾していただきましたので、今回の来日となったものです。

視察団は11月5日に愛知製鋼（株）と大同特殊鋼（株）を訪問し、日本の流通業者も見学したいとの希望がありましたので、翌日には、大阪の全特協会員である小山鋼材（株）と（株）天彦産業を訪問しました。この両社での見学内容、質疑応答の概要は次のとおりです。



1. 小山鋼材（株）では、

(1) 工場見学あとの質疑応答の内容：

- ①日本は景気が悪いと聴いているが、どのような手を打っていますか。
- ②工具鋼の日立材と大同材のシェアはどうですか。
- ③販売形態として素材売りと加工しての売りの比率の質問がありました。  
韓国では素材売りが多い印象でした。
- ④熱間工具鋼における鋼種の価格差と売上比率。

(2) こちらからの質問に対する韓国側の答え：

- ①韓国の特殊鋼販売状況は、前期は良く、現在は昨年と同じ位である。
- ②国民の購入意欲は旺盛なので心配はしていないとのこと。
- ③設備面では熱処理炉や機械設備は同じような設備とのこと。
- ④鋸盤では高速タイプに興味を持って見ていた。

参加した韓国の流通業界の皆さんは熱心に工場を見学され、上記のように活発な質問もあり、写真もたくさん写して帰られたとのことでした。

2. (株)天彦産業では、工場見学で平鋼・条鋼・帯鋼など材料の説明・用途を聞き、工場内機械設備のオートシャー・カスト社製タテ型鋸盤、コマツのクレードルなど、機械の稼働の様子を見学し、特に日本でも数の少ない縦鋸については大変興味を持ち、また、機械に上がってのぞき込むように見ている姿が印象的であったそうです。

そのあと会議室で、樋口社長から歓迎の挨拶、韓国視察団代表の挨拶の後、まず、(株)天彦産業のオリジナルビデオで社内活動を紹介し、社内委員会活動であるジョギングについて上映中に「走るのが「イヤ」だという人はいませんか？」「毎日走るのですか？」と言う質問があり、それには社長も「案外！ないんですよ」と答えたり、また、上映後にも「他の会社もこのような事をするのですか？」「ベスト社員はどう選ばれるのですか？」「朝礼のテーマは？」など、仕事同様、重要視されている社内活動について大変おどろかれた様子であったとのことでした。

後半では、樋口社長から我が国の特殊鋼の流れと生産実績、輸出実績など我が国の特殊鋼流通業界の概要について説明があり、質疑応答に移りましたが、話題はもっぱら日本の特殊鋼事情についての質問が相次ぎ、また、「国内の景気」「東南アジアからの輸入問題」などがあり、更に、「社長を辞めたいと思ったことはありませんか？」「決済条件は？」「利益率はどれくらい？」など鋭い質問が飛び交いました。お互い抱えている問題は共通の様であったとのことでした。

今回を機に、今後益々、両国の特殊鋼流通業者の交流が深まることを祈願しております。

## 編集後記

足元の景気は、再び警戒水域に近づきつつあると景気の実況認識をしたうえで、不良債権処理の加速や株価の低迷の中、中小企業にはとても景気が上向いているという実感がなく、このような時期に、全特協の会長職を受けて下さった三上会長に心より感謝いたします。

三上新会長のもとの、新体制で、全特協が、また、会員

の皆様がこんなに元気で、力強いという情報や記事を、広報誌「すていーる」に多数投稿していただき、なお一層楽しい広報誌に育てていただきたいと思います。皆様よいお年をお迎えください。

総務委員会委員長・広報誌発行責任者／福岡 富司